

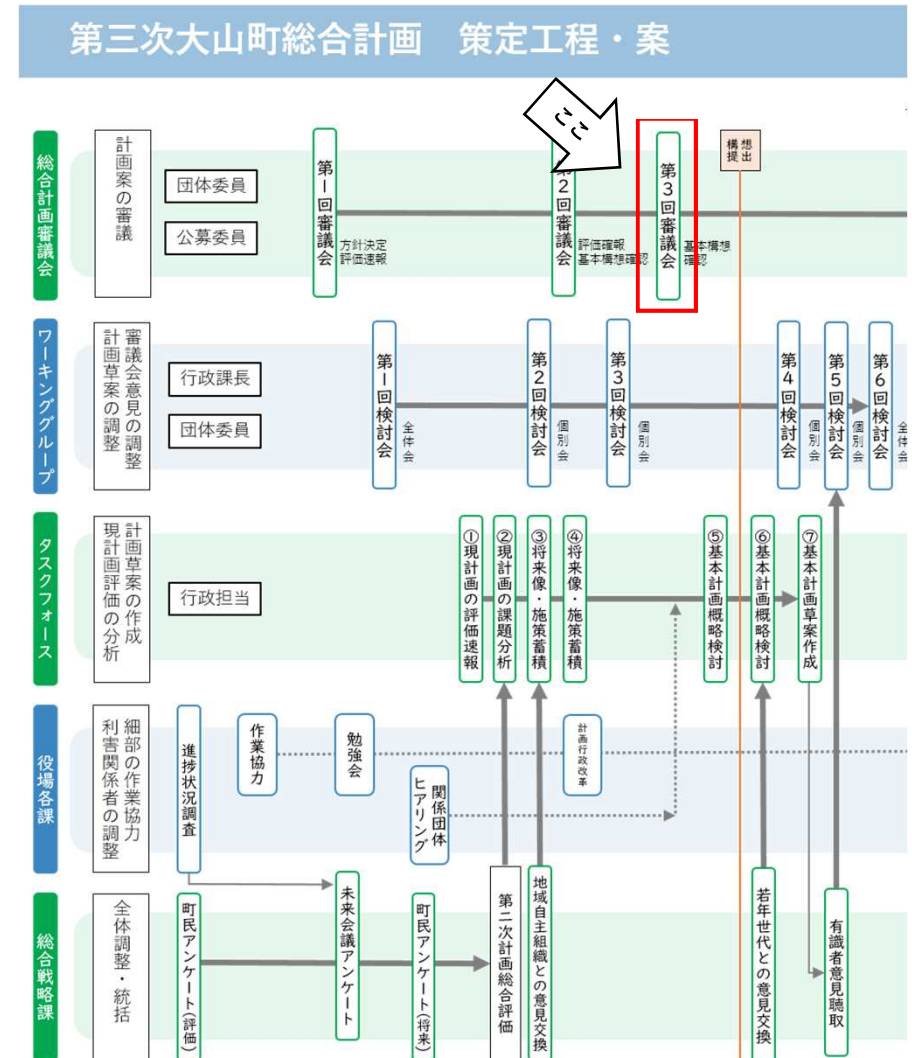
大山町総合計画の検討状況等について

●検討スケジュール

11月	草案作成タスクフォース会議②(③)
12月	素案作成ワーキング・グループ会議②
1月	大山町総合計画審議会②
2月	地域自主組織ヒアリング・町民座談会
3月	草案作成タスクフォース会議④
3月	素案作成ワーキング・グループ会議③
3月	<u>大山町総合計画審議会③(→中間答申)</u>
4～5月	基本構想(案)パブリックコメント
6月	基本構想(案)議案提出

●今日の論点(ゴール)

☞基本構想(案)としてよいか確認



各会議等での基本理念の主な意見

●地域自主組織ヒアリング

- ・「人とのつながり」を大切にしながら挑戦し続けることを応援する。
- ・人と人とのつながりがまちづくりである。
- ・基本理念を説明する文章があるとわかりやすい。

●ワーキング・グループ会議

- ・言葉をつなげただけで何を意味しているのか分かりにくい
- ・主題と副題に分けたほうがいい。
- ・人である私たちがどのようにするかということなので自然よりも先に人が来たほうがいい。

基本理念の意図するところは賛同された。意図を説明する解説を加え、基本理念を表現する上での基本理念の言葉の選び方については、再度検討を行った。

基本理念(案)のワーキング・グループでの意見の状況

- | | |
|---|-------|
| ① <u>わくわく楽しい未来につながるまち ～人と自然が紡ぐまちの豊かさ～</u> | WG約6割 |
| ② <u>わくわく楽しい未来のまちへ ～人と自然がつながるまちづくり～</u> | WG約2割 |
| ③ <u>わくわく楽しい未来のまちへ ～人と人、人と自然がつながるまち～</u> | WG約2割 |

各会議等での基本目標への主な意見

●地域自主組織ヒアリング

- (1) ひとの視点
 - ・ 地域自主組織の目標と通ずる点がある。
 - ・ 子どもたちと大学生など地域外の方との交流事業で外を知る。
 - ・ 拠点に集まる小学生は大山町が好きで大山町で働くことや稼ぐことに興味を持つ子が増えているように感じる。
- (2) しごとの視点
 - ・ 仕事内容も大切だが、まちに来る価値や良い経験ができるといった視点も重要。
 - ・ 幼少期から大山町にどんな仕事があるのかを知ってもらうことも必要だと思う。
 - ・ 農地や機械購入など農業に参入しやすい環境を作ることも必要だと思う。
- (3) くらしの視点
 - ・ 誰かの快適が誰かの不幸にならないような仕組みづくりが必要。
 - ・ 地域住民の声掛けや交通難民を救済する活動を住民主体で前向きに行うことができ仕組みが
 - ・ 移動手段の確保や買い物支援、地域医療を考えることが重要だと思う。
- (4) しぜんの視点
 - ・ 「寄り添う」は抱きかかえるという印象なので「大切に」という表現のほうがいい。
 - ・ 地域の資源を活用すると他の地域から来た人から大山の良さを評価された。
 - ・ 自然の豊かさは昔からあるが、それを実感できるとこととその感覚を失わないことが必要。
- (5) つながりの視点
 - ・ 「すべて」の人が「太く」つながらなくてもよいと思う。
 - ・ 関係人口を増やして外の声を取り入れていくことが必要だと思う。
 - ・ 自主組織が一番力を発揮できるのが繋がりの部分だと感じている。

●ワーキング・グループ会議

- ・ 5視点が並列しているが「つながり」は少し異質なので整理したほうがいい。
- ・ 将来像の解説が盛りすぎなのでもっと簡潔にしたほうがいい。

基本目標の「つながり」を目標自体であり他の目標にも通ずる視点であるとして横ぐしを指すものとして整理した。将来像の解説をより簡潔で分かりやすい内容に修正した。

各会議等での未来を測るものさしへの主な意見

●町民座談会

- ・ウェルビーイングの趣旨を考えると計画に掲げるのは納得感があっていいと思う。
- ・アンケートへの回答が町政への参画につながっているものとして回答数を目標に活用してはどうか。
- ・幸福度調査だととっつきにくいのでウェルビーイング指標に愛称を付けたほうがいい。

●ワーキング・グループ会議

- ・過疎化が進む人口減少であっても精神的な心の豊かさを感じるいい町だという意味を出して、ウェルビーイング指標で数値を出せるのなら目標としていいと思う。
- ・いい町だと思ってもらうためには数値が少しでも上がったほうがいい。現状より上を目指すという目標が立てられたらいいのではないか。
- ・基本目標に応じてウェルビーイング指標をカテゴリー化すると進捗を測ることができるのではないか。

●タスクフォース会議

- ・主観データの動きや客観データとのギャップをみて施策を検討することは有効。
- ・アンケートの実施時期や収集方法は工夫をしていくことが必要。

「人の数」と「人の状態」のそれぞれの説明を加えた。特に「人の状態」は参考とする大山町データを収集中。アンケート回答数を目標に設定したことと、基本目標と指標のカテゴリー化を行った。